

1 部会での活動

東海市環境基本計画の趣旨に沿い、平成22年度に策定した「第3次東海市ごみ処理基本計画」（平成23年度～32年度）に位置付けたごみ減量化及び3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）推進の有効適正な方策について、私を含む部会メンバー5名は、3R推進協議会（全委員11名）に参画し、委員がそれぞれの立場から市への提案と意見交換を行ってきた。

2 26年度の部会活動内容

(1) 重点事業の選定

パッカー車若しくは清掃工場の火災の原因となるスプレー缶の排出方法の問題について検討及び事業見直しに取り組むこととした。

(2) 事業見直しに関する検討

事業見直しをするにあたり、問題点・課題の抽出を行った。

- ア 排出する市民が、穴を開けずに集積場所に出すことが危険だと知らない
- イ 排出する市民が穴を開けることが危険・大変
- ウ 各自治体での収集が違う（わかりにくい）
- エ 穴を開けずに排出できる場所を知らない

(3) 問題点・課題解決につながる取り組み

- ア スプレー缶専用回収ボックスの設置
  - ⇒穴を開けずに出すことができる
  - ⇒回収できる場所が認識しやすくなった



従来（見直し前）	現在（見直し後）
必ず穴を開けなければいけない	必ず穴を開ける必要がなくなり、安全になった

イ 広報啓発

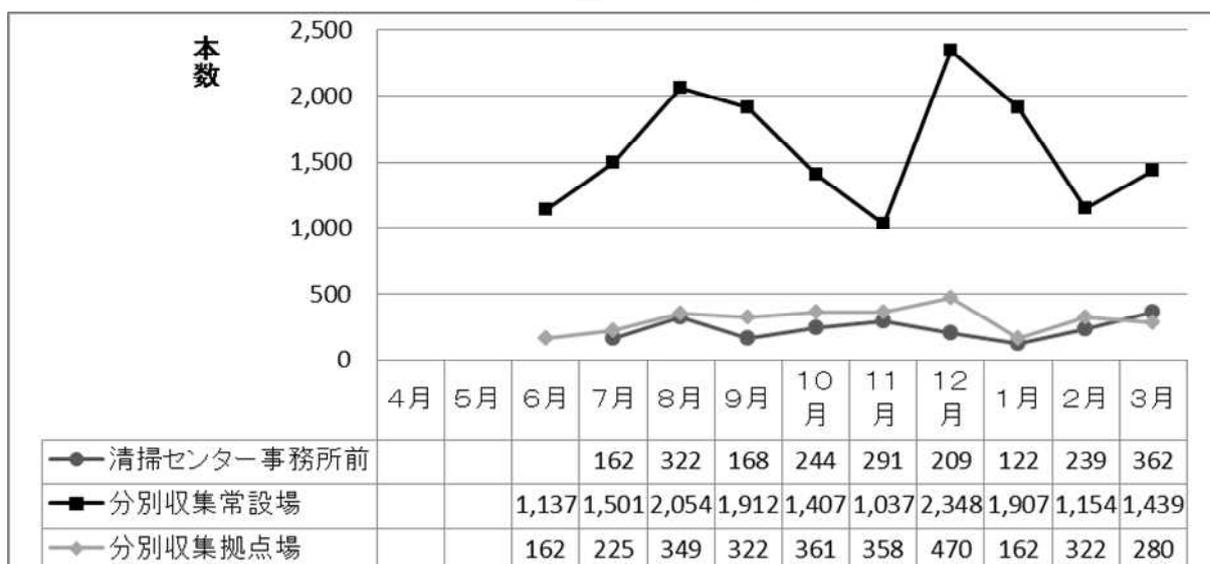
- ㊦ 町内会・自治会へのチラシ回覧
- ㊧ 小学校の社会見学及び中学校の職場体験での教育
- ㊨ リサイクルフェア及び消費者広場等のイベントでのポスター掲示
- ㊩ 市ホームページの刷新
  - ⇒危険性及び穴を開けずに回収できる方法を周知
  - ⇒本市の収集方法を周知

(4) スプレー缶による火災発生状況と活動実績

平成26年度火災発生明細表

発生年月日	時間	発生状況
平成26年5月7日	11:00	加木屋町大堀近辺
平成26年5月7日	9:50	大田町上浜田 宝マンション
平成26年6月18日	9:30	元浜町大同特殊鋼元浜寮

スプレー缶専用回収ボックスでの回収量 (平成26年度)



平成26年6月19日から専用回収ボックスを分別収集常設場・拠点場及び清掃センター管理事務所前に設置してから、火災は発生していない。破砕処理施設の火災は本年度0件に防止することができた。

4 活動を通しての感想と今後の期待

スプレー缶は改めて危険なものであるという認識を持った。また、多くのスプレー缶は穴が開いていない状態で集積場所に捨てられていることがわかり、常に身近に危険が潜んでいることがわかった。

今後は、さらなる広報啓発活動を行い、より多くの危険なスプレー缶を安全に回収できるように、回収場所の増設や他の回収方法の調査研究し、火災発生件数0件を目標とする。

以上